

2015年5月1日

教職員ポータル・学生ポータル（大学・短大） 利用者各位

青山学院大学
事務システム部

SSL 3.0 で発見された脆弱性への対応について

インターネットで通信内容の保護に使われている暗号化方式「SSL 3.0」について深刻な脆弱（ぜいじゃく）性が発見されました。保護すべき通信内容の一部が漏えいする可能性があるというものです（詳細は情報処理推進機構の「[SSL 3.0 の脆弱性対策について](#)」をご参照ください）。

この脆弱性に対応するため、青山学院の教職員ポータルサービス、大学・短大学生ポータルでは SSL 3.0 の利用を順次停止し、SSL を基に強化・開発された暗号化方式「TLS」だけを通信に用いるように切り替えを行います。最近のウェブブラウザは TLS に標準で対応しているため、旧式化した SSL 3.0 の利用を停止してもサービスのご利用に際しまして影響は少ないと考えます。

しかし一部の古いブラウザや、ブラウザの通信設定によっては、青山学院のポータルにアクセスできなくなる場合がありますのでご注意ください。

その場合は、新しいブラウザにアップデートしてご利用いただくか、Internet Explorer の場合には以下の通信設定の例をご参照の上、設定を変えていただくようお願いいたします。

Internet Explorer をご利用の場合、[こちらの手順で設定を実施してください](#)。その他のブラウザも同様の設定をご確認ください。

なお、Chrome は最新バージョンで既にこの問題に対応済みで、Firefox はバージョン 34 で対応すると発表されています。そのほかのブラウザの開発元も対応策をそれぞれ発表しておりますので、開発元の情報をご確認ください。

以上